

善福寺公園かめ新聞

第2号 2004年8月17日



☆ 池の中で何の調査をしているの??

6月～10月まで、善福寺公園に生息しているカメ類の調査をしています。

この調査では、カメの種類、生息数、性別、おおまかな年齢などを調べています。

また、捕獲したカメは在来種は計測後逃がし、外来種(注)は地域在来の自然を大切にしていいため除去しています。除去された個体は研究資料として大学の研究室へ提供しています。

(注)「外来種」……もともとはその地域に自然分布せず、人為的に持ち込まれた生物のこと。在来種との間に、捕食、交雑などの問題を引き起こしています。先頃開かれていた国会では、外来種対策のための新法が制定されました。

☆ 池の深さはどれくらい??

岸近くで約1m、上池は中央部で約1.2m、ただし泥がやわらかいので大人の胸まで沈むくらいの深さです。調査中「胴長靴」という胸まで隠れる防水の作業着を着ていますが、その胴長靴を着て入れる場所は岸から5m前後。上池より下池の方が岸からすぐに深くなってしまうところが多く、胴長靴では下池の柵(岸から2mぐらいのところ杭の横に金属性の紐が張ってある柵)まで入ることが出来ないところもあります。

☆ 池を歩くとどんな感じ??

池の底は、砂底と、落ち葉などが堆積して出来た腐食層の場所があります。砂底は足元が安定しているので安心して足をおくことができますが、腐食層のところは、どこまで体が沈むか一步一步ゆっくり足元を確認して歩かないと、突然深みにはまり胴長靴の中に水が入ってきて濡れてしまうことになるので危険です。

☆ どんなカメがいたのかな??

7月の調査結果 <カメ>

7種のカメ類を確認しました。種名の横に7月の調査で確認できた個体数と、6月・7月の調査で確認できた総数(カッコの中)をあらわしました。

ミシシッピーアカミミガメ(外来種)	27匹	(6月からの合計 72匹)
キバラガメ(スライダーガメ)(外来種)	1匹	
ハナガメ(外来種)	1匹	(6月からの合計 3匹)
ヤエヤマシガメ(外来種)	1匹	
クサガメ	11匹	(6月からの合計 26匹)
ニホンシガメ	3匹	(6月からの合計 4匹)
ニホンスッポン	2匹	

今月のカメ ニホンシガメ

Mauremys japonica (ヌマガメ科)



分布: 本州、四国、九州(付属の島々を含む)。

大きさ: 8cm～大きいものだと20cmぐらいにまで成長します。

食べ物: 雑食性で、魚やアメリカザリガニ、水生昆虫、水草なども食べます。

特徴: 甲羅が黄土色で、腹側は黒色。尾の近くの甲羅はギザギザになっています。

日本固有のカメです。



丸い甲羅と黄色っぽい色から「ゼニガメ」と呼ばれたりしています。

護岸工事や、道路脇の三面コンクリート側溝などで移動することが困難になり、また川自体の水質が悪化したりすることなどより個体数が減少しています。

日本だけでしか見るのでできないカメなので、その生息地をみんなで大事にしていきたいですね。

※カメなどのペットを野外に放すことは、動物愛護管理法第27条で禁止されています(30万円以下の罰金!!)